

大阪医療センターをご利用くださる先生方へ

Osaka National Hospital

News



独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センターニュース

No. 72

令和3年5月

このニュースは、年4回、
大阪医療センターの最新情報をお届けいたします。
詳しいお問い合わせは
地域医療連携室までお寄せください。



目次

地域医療連携室より

- ・講演会のご案内 2
- ・新任及び退職医師のお知らせ 3

病院のトピックス

- ・松村泰志院長 就任のご挨拶 4
- ・部署紹介 5
- ・祝日診療のお知らせ 9
- ・脳卒中・循環器疾患におけるホットラインのご案内 10
- ・NHO PRESS ～国立病院機構通信～について 10
- ・がん相談支援センターのご案内 11

独立行政法人 国立病院機構 **大阪医療センター**

地域医療連携室 令和3年5月発行 72号

〒540-0006 大阪市中央区法円坂2-1-14

TEL.06-6946-3516

☎ 0120-694-635

FAX.06-6946-3517

[HP] <https://osaka.hosp.go.jp>

[E-mail] 408-comonh@mail.hosp.go.jp

～ 独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センターの理念～

私たち、独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センターの職員は、

- 1、医療に係わるあらゆる人々の人権を尊重します。
- 2、透明性と質の高い医療を、分け隔て無く情熱をもって提供します。
- 3、医学の発展に貢献するとともに良き医療人の育成に努めます。
- 4、常に向上心をもって職務に専念し、健全な病院運営に寄与します。

～理念に基づいた病院の基本方針～

—— 独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センターの診療・研究・教育方針 ——

1) 政策医療の推進

- ・ 基幹医療施設としての「がん」「心・大血管疾患」「脳卒中」「糖尿病」等、高度総合医療の実施
- ・ HIV/AIDS先端医療の推進（近畿ブロック拠点病院）
- ・ 3次救急医療と災害医療の推進（西日本災害医療センター）
- ・ 専門医療と総合診療の充実
- ・ 医療機関の機能分担の推進と地域医療への貢献（地域医療支援病院）



- 正しく
- 品よく
- 心をこめて

2) 高度先進医療への貢献

- ・ 技術開発：先進的医療の基盤となる技術の研究開発とその臨床応用の確立
- ・ 臨床研究：病因の解明、診療治療法の開発等の臨床並びにその基礎となる研究の実施
- ・ 臨床試験の推進：治験を含む臨床試験の円滑な実施とその管理・支援

3) レベルの高い医療人を育成

- ・ 卒前教育：医療系教育施設と連携した教育活動と実習生の受入
- ・ 卒後研修：初期臨床研修医及び後期臨床研修医（専修医）等、卒後の医療技術者の育成
- ・ 専門職の育成

4) 情報開示と情報発信

- ・ 透明性を保った情報の開示・発信

講演会のご案内

開催日時	件名	内容	対象者
●	●	●	●
●	●	●	●
●	●	●	●

開催場所 大阪医療センター 緊急災害医療棟3階講堂 **アクセス** 地下鉄谷町線・中央線「谷町4丁目」駅①号出口すぐ

問合せ 地域医療連携室（電話：06-6946-3516）

新任及び退職医師のお知らせ

新任医師

異動年月	職名	氏名	異動内容
R3.4.1	院長	松村 泰志	採用
R3.4.1	循環器内科医長	井上 耕一	採用
R3.4.1	上部消化管外科医長	竹野 淳	採用
R3.4.1	心臓血管外科医長	西 宏之	採用
R3.4.1	血液内科医長	柴山 浩彦	採用
R3.4.1	血友病科医長	矢田 弘史	採用
R3.4.1	口腔外科医長	鹿野 学	昇任
R3.4.1	放射線診断科医長	井上 敦夫	昇任
R3.4.1	呼吸器外科医長	土井 貴司	昇任
R3.4.1	婦人科医長	松本 久宣	昇任
R3.4.1	下部消化管外科医師	柳澤 公紀	採用
R3.4.1	放射線診断科医師	虎谷 昌保	採用
R3.4.1	耳鼻咽喉科医師	寺田 理沙	採用
R3.4.1	小児科医師	前川加奈美	採用
R3.4.1	脳卒中内科医師	笠倉 至言	採用
R3.4.1	乳腺外科医師	岡田公美子	採用
R3.4.1	血液内科医師	長手 泰宏	採用
R3.4.1	消化器内科医師	福武 伸康	採用
R3.4.1	循環器内科医師	池岡 邦泰	採用
R3.4.1	眼科医師	河 共美	採用
R3.4.1	麻酔科医師	蔣 妍	採用
R3.4.1	精神科医師	梅田寿美代	採用
R3.4.1	精神科医師	南 泰成	採用
R3.4.1	放射線治療科非常勤医師	窪田 光	採用
R3.4.1	専攻医(腎臓内科)	塚本 美輝	採用
R3.4.1	専攻医(腎臓内科)	七條 綾子	採用
R3.4.1	専攻医(腎臓内科)	茂木 孝友	採用
R3.4.1	専攻医(糖尿病内科)	岸 由衣加	採用
R3.4.1	専攻医(糖尿病内科)	西村英里香	採用
R3.4.1	専攻医(糖尿病内科)	山口 大旗	採用
R3.4.1	専攻医(脳卒中内科)	森山 拓也	採用
R3.4.1	専攻医(消化器内科)	高橋 実佑	採用
R3.4.1	専攻医(消化器内科)	東浦 玲意	採用
R3.4.1	専攻医(消化器内科)	川端 将生	採用
R3.4.1	専攻医(消化器内科)	田邊元太郎	採用
R3.4.1	専攻医(消化器内科)	宮崎 哲郎	採用
R3.4.1	専攻医(消化器内科)	早田菜保子	採用
R3.4.1	専攻医(循環器内科)	大崎 慧	採用
R3.4.1	専攻医(循環器内科)	大里 和樹	採用
R3.4.1	専攻医(循環器内科)	家原 卓史	採用
R3.4.1	専攻医(外科)	西原 弘貴	採用
R3.4.1	専攻医(外科)	梅津 匡宏	採用
R3.4.1	専攻医(外科)	林 千恵	採用
R3.4.1	専攻医(外科)	原 修一郎	採用
R3.4.1	専攻医(外科)	寺川 航基	採用
R3.4.1	専攻医(外科)	坂野 悠	採用
R3.4.1	専攻医(脳神経外科)	村上慶次朗	採用
R3.4.1	専攻医(脳神経外科)	西澤 尚起	採用
R3.4.1	専攻医(整形外科)	北西 光介	採用
R3.4.1	専攻医(泌尿器科)	泉 はるか	採用
R3.4.1	専攻医(耳鼻咽喉科)	田中 晶平	採用
R3.4.1	専攻医(眼科)	佐藤 大樹	採用
R3.4.1	専攻医(放射線診断科)	前田 夏奈	採用
R3.4.1	専攻医(皮膚科)	菊澤 千秋	採用
R3.4.1	専攻医(皮膚科)	来田 英伸	採用
R3.4.1	専攻医(救命)	岡本雄太郎	採用
R3.4.1	専攻医(麻酔科)	野田 純希	採用
R3.4.1	研修医	榎 迪洋	採用
R3.4.1	研修医	上村 廉	採用
R3.4.1	研修医	竹内 太郎	採用
R3.4.1	研修医	田中 大地	採用
R3.4.1	研修医	玉城 勇樹	採用
R3.4.1	研修医	中村 一輝	採用
R3.4.1	研修医	兵庫 隆司	採用
R3.4.1	研修医	福田 忠浩	採用
R3.4.1	研修医	本堂 方人	採用
R3.4.1	研修医	宮本 僚太	採用
R3.4.1	研修医	山下 勇大	採用
R3.4.1	研修医	山本 祐	採用
R3.4.1	研修医	渡辺 和具	採用
R3.4.1	研修医	川内 涼	採用
R3.4.1	研修医	金地 真生	採用
R3.4.1	研修医	三浦 琢幹	採用
R3.4.1	研修医(歯科)	北村有理子	採用

退職医師

異動年月	職名	氏名	異動内容
R3.3.31	院長	是恒 之宏	退職
R3.3.31	循環器内科医長	伊達 基郎	退職
R3.3.31	上部消化管外科医長	西川 和宏	退職
R3.3.31	下部消化管外科医長	三宅 正和	退職
R3.3.31	先進医療部長	栗山 啓子	退職
R3.3.31	耳鼻咽喉科医師	花田有紀子	退職
R3.3.31	乳腺外科医師	大谷 陽子	退職
R3.3.31	糖尿病内科	光井 絵理	退職
R3.3.31	眼科医師	橋 依里	退職
R3.3.31	精神科医師	山路 國弘	退職
R3.3.31	精神科医師	百崎 詩子	退職
R3.3.31	救命救急センター医師	眞木 良祐	退職
R3.3.31	感染症内科医師	樹田 智仁	退職
R3.3.31	糖尿病内科非常勤医師	種田 灯子	退職
R3.3.31	歯科非常勤医師	岡田 壽一	退職
R3.3.31	専攻医(腎臓内科)	窪田 卓也	退職
R3.3.31	専攻医(腎臓内科)	小堀 愛美	退職
R3.3.31	専攻医(腎臓内科)	別所 紗妃	退職
R3.3.31	専攻医(腎臓内科)	野津 翔輝	退職
R3.3.31	専攻医(糖尿病内科)	花岡 希	退職
R3.3.31	専攻医(糖尿病内科)	上原 雄平	退職
R3.3.31	専攻医(脳卒中内科)	櫻井 玲	退職
R3.3.31	専攻医(脳卒中内科)	井出裕季子	退職
R3.3.31	専攻医(消化器内科)	津室 悠	退職
R3.3.31	専攻医(消化器内科)	河本 泰治	退職
R3.3.31	専攻医(消化器内科)	東 瀬菜	退職
R3.3.31	専攻医(消化器内科)	別所 宏紀	退職
R3.3.31	専攻医(循環器内科)	鶴岡 一穂	退職
R3.3.31	専攻医(循環器内科)	坂本 麻衣	退職
R3.3.31	専攻医(外科)	宮崎 葉月	退職
R3.3.31	専攻医(外科)	楠 誓子	退職
R3.3.31	専攻医(外科)	宮原 智	退職
R3.3.31	専攻医(外科)	大津 周	退職
R3.3.31	専攻医(外科)	植田 隆太	退職
R3.3.31	専攻医(整形外科)	鈴木 りえ	退職
R3.3.31	専攻医(泌尿器科)	松村 聡一	退職
R3.3.31	専攻医(耳鼻咽喉科)	藤原江璃奈	退職
R3.3.31	専攻医(眼科)	河 共美	退職
R3.3.31	専攻医(放射線診断科)	矢野 弘樹	退職
R3.3.31	専攻医(皮膚科)	出野りか子	退職
R3.3.31	専攻医(救命)	河本 昌雄	退職
R3.3.31	専攻医(麻酔科)	氏本 大介	退職
R3.3.31	専攻医(麻酔科)	山中 百優	退職
R3.3.31	専攻医(麻酔科)	竹山恵梨子	退職
R3.3.31	専攻医(麻酔科)	松村 佳織	退職
R3.3.31	研修医	大崎 慧	退職
R3.3.31	研修医	大里 和樹	退職
R3.3.31	研修医	岸 由衣加	退職
R3.3.31	研修医	鬼頭里以子	退職
R3.3.31	研修医	國分 祐樹	退職
R3.3.31	研修医	寺川 航基	退職
R3.3.31	研修医	名手 孝紀	退職
R3.3.31	研修医	西窪 英之	退職
R3.3.31	研修医	西澤 尚起	退職
R3.3.31	研修医	古谷 祥吾	退職
R3.3.31	研修医	前田 夏奈	退職
R3.3.31	研修医	松井 俊郎	退職
R3.3.31	研修医	松尾 剛明	退職
R3.3.31	研修医	渡會 皓介	退職
R3.3.31	研修医	小林 碧	退職
R3.3.31	研修医	嶋津 歩	退職
R3.3.31	研修医	林 有紀	退職



院長 就任のご挨拶

4月より大阪医療センター院長に就任しました松村です。これから、よろしくお願いいたします。前職は、大阪大学医学系研究科の教授として、学部生、大学院生の教育、医療情報学領域の研究を行い、医学部附属病院の医療情報部長、病院長補佐として、阪大病院の管理に携わってきました。昭和60年大阪大学卒業後、大阪警察病院に勤務し、循環器内科医として三次救急、CCU管理等の重症心疾患の治療を経験しました。その後、大阪大学の博士課程に進み、心臓の再灌流障害の分子メカニズムに関する基礎的研究をしました。その時、病院移転があり、阪大病院のシステム導入の仕事に就くよう命じられ、まったく紙の運用から17年かけて徐々に電子カルテ運用に移行させる仕事をしました。平成9年DPC制度の立ち上げに関わり、厚労省と協議し、阪大病院での日本で最初のDPC運用を手掛けました。また、平成16年独立行政法人化に伴い、病院に管理会計を導入するなど、病院経営管理に関わりました。平成22年に教授になってからは、多施設での臨床研究体制の整備、癌ゲノム医療のシステムの整備、ゲノム情報の研究室の立ち上げ、人工知能の医療応用等の仕事をしてきました。振り返りますと、大学卒業後、様々な毛色の違った仕事を手掛けてきました。その時々では、その仕事を生涯するつもりで真剣に取り組んでいたのですが、私の意思とは裏腹に、突然別の仕事をする道が引かれ、結果的に様々な仕事を体験することとなりました。この度も、私自身は大学教授として退官まで全うするつもりでおりましたが、多方面からのお勧めにより大阪医療センターの院長として新たな人生をスタートさせることとなりました。これまで経験してきたことを生かして、自分らしく職務を全うしたいと思っております。

大阪医療センターに参り、率直に大変素晴らしい病院と感じています。病院スタッフは、皆真面目で、それぞれの領域をカバーした上で強みのある医療技術を持っており、真剣に追及し発展させる努力をしています。大阪医療センターは総合病院であり、広い範囲でそれぞれ専門医が勤めています。高齢化が進むなか、患者さんは併発症を持つことが多いですが、当院では併発症のそれぞれに専門医が当たり、協力して患者さんを診ていく体制があります。こうした本院の良い面を理解していただき、今後も、地域に信頼される病院であり続けられるよう努めてまいります。これからも引き続き、よろしくお願いいたします。

独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター
院長 松村 泰志

部署紹介

【組織】

栄養管理室長1名、副栄養管理室長1名、主任栄養士1名、管理栄養士7名、非常勤管理栄養士2名、派遣事務1名、調理師長1名、副調理師長1名、主任調理師2名、調理師3名、調理助手5名、委託栄養士4名、委託調理師7名、委託調理補助24名、計59名のスタッフで構成されています。

【業務内容】

食事提供や献立作成などの「給食管理業務」、入院・外来栄養指導や患者さんの食事対応、チーム医療などの「栄養管理業務」の2つに大別されます。今回は、「給食管理業務」の中でも普段目にする事の少ない調理場内を中心に紹介したいと思います。

《食事療養》

1日1食あたり、約430人の食事を提供しています（令和元年度実績より）。

その内訳は、常食・学齢児食・妊産婦食などの一般食、糖尿食・循環器食・蛋白制限食などの特別加算食、分菜食・嚥下食・アレルギー食などの特別非加算食、経管流動食などの種類があります。（まだまだ食種はたくさんあるのですが、詳しくはオンラインマニュアル⇒栄養管理室⇒院内食事箋規約に掲載されています）



《調理機器》

そんなにたくさんの食事をどうやって作っているのでしょうか？

少し、厨房を覗いてみましょう。



プレハブ冷蔵庫



下処理場

食材は野菜用、肉魚用など、用途によって冷蔵庫が分けられています。納品した食材は、それぞれ料理に応じた切り方で下処理を行っていきます。大根、人参、玉葱、青葱等…食数によっては数十キロの野菜を下処理することもあります。たくさんの野菜を洗うためには、大きなシンクがいくつも必要です。また、生野菜を提供する場合は、衛生面にも配慮し、食品添加物を使用した次亜塩素酸ナトリウム希釈した液に浸し、消毒を行っています。



回転釜



スチームコンベクションオープン



炊飯器

ハンドルをくるくる回すとこの大きい釜が前後に回るため「回転釜」と言います（左上図）

食材を茹でる、炒める、煮るなど、用途は様々あり、約150～200人分の食材を調理できます。

右上図は、スチームコンベクションオープン（通称スチコン）です。焼く、煮る、蒸すなど、こちらも用途は様々です。家庭用電子レンジとは大きさが全然違います。1回で約100～150人分の料理を調理できます。

左下図は炊飯器です。いくつもの炊飯器が並んでいます。1つの炊飯釜で約40人分のご飯が炊けます。炊き立てはとても熱いので大きなミトンを使って運んでいます。



《行事食》

そんな調理機器を使い、調理師の方々は毎日の食事を欠かすことなく提供しています。

入院中の楽しみは「食事」とおっしゃる患者さんはとても多いです。そんな毎日の食事を楽しみを取り入れる事も栄養管理室の使命です。ということで、続いては行事食をご案内します。



クリスマスディナー



クリスマスケーキ（小児用）

去年のクリスマスディナーです。小児病棟ではクリスマス会を開きました。クリスマスと言えばやっぱりケーキですね。



ひな祭り（小児用散らし寿司）



正月料理



新年を病院で迎える方々に、元旦の食事はおせち料理にちなんだメニューを提供しました。
ひな祭りは、つい先月行った行事食です。

《適時適温》

食事時間は、朝7時30分、昼12時、夕18時となっています。前述したような行事食も、適温でなければ美味しさも損なわれてしまいます。

温かいメニューは温かく、冷たいメニューは冷たく。「適時適温」で配膳するために欠かせないのが「温冷配膳車」です。当院の配膳車は、1台で48～54膳の食事を運べます。



《食器洗浄》

食べ終わった食事は下膳車に積んで、厨房へ戻り、食器を洗います。最後は「食器洗浄機」を紹介します。業務用は果たしてどれくらいのサイズでしょうか？（右図）

さすが業務用、家庭用のサイズとは比べ物にならないです。この洗浄機、ベルトコンベア式で送り手が食器を流し、機械の中で熱湯噴射され、受け手が片付けます。

お茶碗、お皿、小鉢などは勿論、トレイほどの大きさも機械の中を通れます。その後、食器保管庫で乾燥し、また次の食事で使えるように準備を整えます。



いかがでしたでしょうか？

食材の納品・保管から下処理、調理・盛付、配膳・下膳、洗浄…と、1回の食事を出すまでに多くの業務があります。また、大量調理に携わるため、衛生管理の基本となる「大量調理施設衛生管理マニュアル」に準じ、加熱後の温度記録、料理の保温保冷記録、スタッフの体調管理など毎日記録をつけています。栄養管理室スタッフ全員が、常に衛生管理の意識を保ち、安全安心で美味しい食事提供を心掛け、日々業務に努めています。



令和3年 7月22日(木・祝)

9月23日(木・祝)

11月3日(水・祝)

令和4年 1月10日(月・祝)

の各祝日に通常通り外来診療、手術等を行います。

関係医療機関 各位

平素は当院の運営にご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

近年、いわゆるハッピー・マンデーにより月曜日が祝日となる
ことが多く、通常月曜日に行っております外来診療、手術等
におきまして支障が生じることが懸念されており、当センター
では昨年度、令和2年8月10日、9月21日、11月23日及び
令和3年1月11日の祝日に、平日と同様に外来・入院診療を
行いました。

今年度におきましても、令和3年7月22日(木)、9月23日(木)、
11月3日(水)、令和4年1月10日(月)の祝日に、外来診療、
手術等を実施することといたしましたので、患者さんのご紹介に
つきましてよろしくお願い致します。

なお、一部の診療科では休診等の場合もございますので、
事前にご確認をお願いします。

今後とも、皆様方のご協力のもと、地域医療の充実を図る
べく努力をいたして行く所存でございますので、よろしくお願い
申し上げます。

独立行政法人国立病院機構

大阪医療センター院長 松村 泰志

脳卒中・循環器疾患におけるホットラインのご案内

当院では、主に救急隊からの脳卒中・循環器疾患による患者搬送を受け入れできるよう、脳卒中・循環器ホットラインを設置しておりますが、本ホットラインは救急隊からの要請に限定したものではありません、広く各医療機関様からのご連絡も24時間お受けできる体制を取っています。

貴院かかりつけ患者様あるいは救急搬送された患者様で、脳卒中・心臓・大血管疾患の急変等が起こった際の搬送先として、当院のホットラインをぜひご活用ください。



独立行政法人 国立病院機構
大阪医療センター

〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2-1-14 TEL: 06-6942-1331 (代)

循環器ホットライン

06-6946-3544

循環器疾患24時間対応します。

脳卒中ホットライン

06-6946-3543

脳血管疾患24時間対応します。

医師及び消防局救急隊からの電話に限ります。

NHO PRESS ~国立病院機構通信~について

大阪医療センターは、国立病院機構（NHO: National Hospital Organization）という141の病院からなる国内最大級の病院ネットワークの病院です。

国立病院機構（NHO）という病院ネットワークが、どのようなグループでどのような活動をしているのかを紹介する『NHO PRESS~国立病院機構通信~』を発行しています。

ホームページに最新号と過去のものを掲載していますので、ぜひご覧になってください。「NHO PRESS」で検索してください。



NHO PRESS

検索

QRコード



大阪医療センター

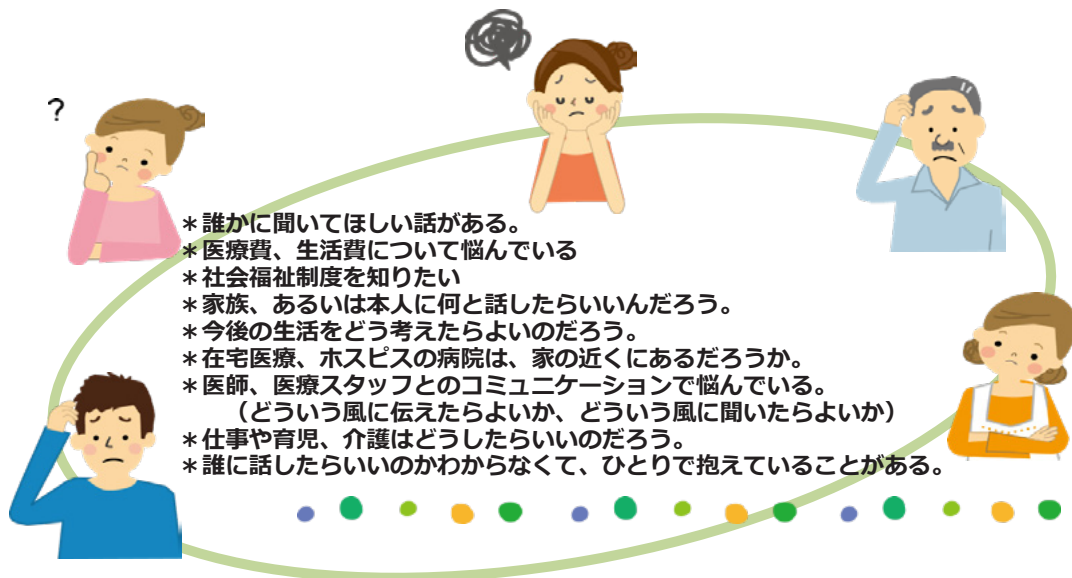
がん相談支援センター

のご案内



患者さん・ご家族の皆さまが、治療を受けながら考えておられること、生活の中で抱えておられるお気持ち、などお話を聞かせていただくことにより、悩みやお気持ちの整理をお手伝いし、解決の糸口を一緒に考えます。
お気軽にご利用ください。

相談料は無料で、相談内容における個人情報厳守いたします。
* ご入院中の方は、ご希望により、病室までお伺いいたします。



相談にあたっては、患者さんやご家族のお考えやお気持ちを尊重し、できるだけみなさまご自身で問題の解決を図れるよう支援をいたします。

■ 大阪医療センター・がん相談支援センター ■

☎ 06-6942-1331 (代表)

[月曜日～金曜日] 9:00～16:00
外来休診日はお休みです

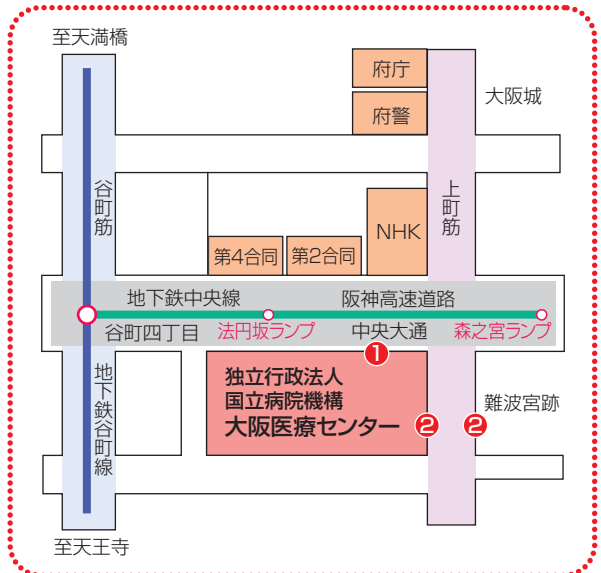
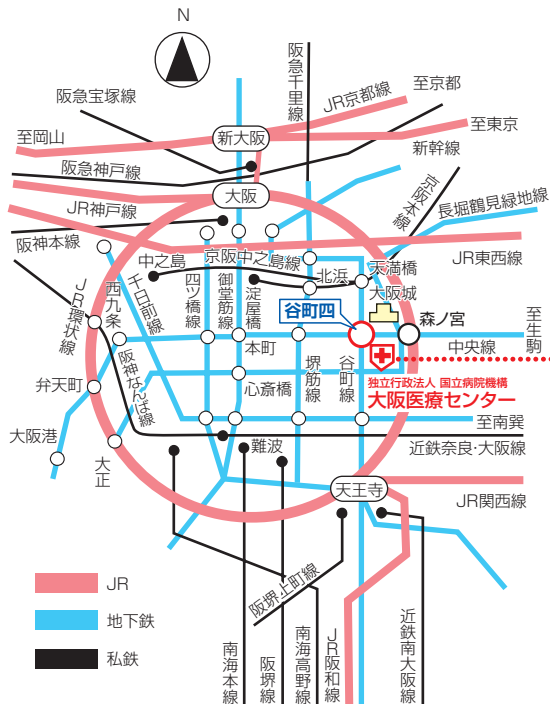
相談対応：看護師・医療ソーシャルワーカー



がん看護相談も
やってます



交通のご案内



① 地下鉄「谷町4丁目」11番出口 ② 市バス「国立病院大阪医療センター」

■地下鉄

谷町線・中央線「谷町4丁目」駅下車 ①番出口すぐ

■J R

大阪環状線「森ノ宮」駅下車、地下鉄中央線乗り換え「谷町4丁目」駅下車 ①番出口すぐ

■バス

市バス「国立病院大阪医療センター」下車

■マイカー・タクシー

・阪神高速 13号 東大阪線

▼環状線経由の場合

「法円坂」出口 上町筋を右折すぐ

▼東大阪方面からの場合

「森之宮」出口 中央大通り直進、上町筋を左折すぐ

・上町筋と中央大通りの交差点の南西角

・お車の出入口は上町筋です。